



東濃5市で式典

東濃5市で、二十歳を祝う式典が開かれた。二十歳の節目を迎えた若者が、振袖など華やかな姿で集い、多彩なイベントを通して門出を祝った。
(田中純太郎、武藤直子、稲本悠司)

二十歳の決意力強く

「古里での経験 糧にする」

多治見市
○多治見市の式典「はたちの集い」は、同市十九田町のバロー文化ホールで開かれ、787人が旧交を温めた。
市内の対象者は932人。実行委員会委員長の寺本岳朗さん(20)は人生を花に例え、「周りの家族に育てられて芽を出し、つぼみをつけた。多治見で得た経験を糧に自分だけの花を咲かせたい」と述べ、大きな拍手が送られた。
実行委員会が企画した恩師からのビデオメッセージが上映されると、久しぶりに見る恩師の姿に会場は沸いた。

「はたちの集い」を盛り上げた実行委員ら。多治見市十九田町、バロー文化ホール。

土岐市 仲間の前で夢宣言



土岐市
○土岐市の二十歳を祝う会は同市土岐津町土岐口の市文化プラザで開かれ、414人が出席した。実行委員会が「Spring」をテーマに式典を盛り上げた。
各校区の恩師が登場し、土岐市にまつわるクイズに挑戦する企画で会場は盛り上がった。出席者には市内の製陶所で作られた美濃焼のマグカップが贈られた。
市内を対象者は538人。式典では実行委員12人が将来の夢を宣言し、実行委員長の前で夢を述べた。



出席者全員でテープカットをして二十歳を祝う若者たち＝恵那市長島町、恵那文化センター

恵那市

「支えてくれた人に感謝」

○恵那市の二十歳を祝う会「恵成式」は、同市長島町の恵那文化センターで開かれた。市内の長井戸柚葉さん(19)が「支えてくれた家族や友人に感謝する」とあいさつし、佐々木大介さん(20)と牧野莉生さん(19)が二十歳の抱負を述べた。

16人の実行委員が企画。出席者全員でテープカットした後、委員長の井戸柚葉さん(19)が「支えてくれた家族や友人に感謝する」とあいさつし、佐々木大介さん(20)と牧野莉生さん(19)が二十歳の抱負を述べた。

高校生ら式典に「花」 フォトスポット設置

恵那市で開かれた「二十歳を祝う会 恵成式」の実行委員と恵那農業高校の生徒が、会場の恵那文化センター(同市長島町)に記念写真を撮るためのフォトスポットを設けた＝写真＝。16日まで設置する。

実行委員長で同校卒業生の井戸柚葉さん(19)が提案。同校で育てたシクラメンとシンビジウム計約70鉢を金屏風の前に飾った。

委員3人と、同校生徒6人が、式に向けて設置作業を行った。井戸さんは「振袖に合うよう、和のイメージにした。後輩たちと一緒に作れて良かった」と語り、同校2年の林沙綺さん(16)は「姉が式に出席するので、お祝いの気持ちを込めて作った。感謝の気持ちを受け取ってほしい」と話した。



飛躍、ろうそくに誓う

瑞浪市

○瑞浪市の二十歳の祝典「瑞瑞式」は、同市岐町の市総合文化センターで開催。410人が節目を迎え、式には301人が出席した。
式は瑞浪瑞浪中学・高校太鼓部の勇壮な演奏で幕開け。20年間を振り返るスライドショーや恩師からのメッセージ動画が放映され、歓声が上がった。
式を企画、運営した実行委員13人が、伝統のろうそくリレー「二十歳の火の伝達」をして、成長や飛躍を決意。大学2年の安藤恵那さん(20)が、両親への手紙を読み、感謝と抱負を述べた。



「選んだ道、諦めず挑戦」



二十歳の誓いで今後の夢や抱負を述べた表書き。中津川市、東美ホール。

中津川市

○中津川市の二十歳の集いは同市加子川の東美ホールで開かれた。今年、式典のテーマは「絆を力に変えて未来へ羽ばたく」という意味を込めた「絆翔」。市内各地の特産品がもたらす思いを込めて「選んだ道、諦めず挑戦し駆け抜けよう」と呼びかけた。

対象者は前年より41人少ない755人で、うち571人が出席した。代表して二十歳の誓いを述べたのは、森優貴さん、大橋寧寧さん、西尾萌さんの3人。両親への感謝や、新型コロナウイルス禍の経験、学校生活の振り返り「選んだ道を後悔しないよう、諦めず挑戦し駆け抜けよう」と呼びかけた。